

適切な論文投稿先を選ぶ： ジャーナル選択のフローチャートとヒント

Caryn Jones

ThinkSCIENCE, Inc. | [Publishing](#)



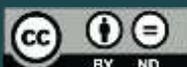
研究論文の投稿先を選ぶとき、その分野において「一流」とされるジャーナルの名前がまず頭に浮かぶでしょう。しかし、そのようなジャーナルが皆さんの論文の発表目的や内容に必ずしもマッチ

するとはかぎりません。ご存知のように、不適切なジャーナルへの投稿は、査読まで行きつくことなく不採択になる可能性が高くなります。では、自分の論文に合うジャーナルをできるだけ早くかつ簡単に選ぶにはどうしたらよいのでしょうか。

ここでは、ジャーナル選択のための系統的なアプローチについて説明し、重要なファクターをフローチャートにまとめました。

[フローチャート：ダウンロードはこちらから](#)

投稿先のジャーナル (target journal) をいつ決定するか (論文の執筆前、途中、執筆後) に関わらず、考慮すべきファクターは数多く存在します。馴染みのあるジャーナルが今回の論文の発表ニーズに合わない場合、数多くのジャーナルから適切な投稿先を選び出すにはかなりの時間がかかるかもしれません。しかし、系統的なアプローチをとる



と、ジャーナルをいくつかに絞り込み、最終的な選択にたどり着くまでの時間が短縮できるでしょう。

また、すぐに出版したい、予算に制限がある、多分野の研究者にできるだけ読んでもらいたいなど、論文発表のニーズは論文ごとに異なるため、関連するファクターを系統立てて比較評価するやり方は、それぞれのケースにおいて確実に最適な選択をするのに役立つでしょう。

投稿ジャーナル候補の絞り込み

自分の専門分野のジャーナルを見つけたいときには、複数の探索方法があります。

- 普段読んでいるジャーナルの中から自分の研究と関連する論文を探し、そこに引用されている参考文献のジャーナル名をチェックする。
- オンラインツールを使って候補となるジャーナルを見つける。自分の研究のキーワードをいくつか入力して検索し、その結果をもとにジャーナルをいくつか選んで各ジャーナルのウェブサイトに入り、詳細情報をチェックする。例として、[Master Journal List](#)（無料、網羅的）や [Journal/Author Name Estimator](#)（無料、バイオメディカル系のジャーナルが対象）などが利用可能。

最適なジャーナルを選ぶための系統的アプローチ

ジャーナル選択のための4つのステップを下記に示します。各ファクターに関連する質問に答えることにより、論文に適したジャーナルが明確になってきます。第2ステップまでは投稿先のジャーナルについてではなく、著者の考えを明確にするためのステップであることに着目してください。研究発表の目標が明確でないうちは、ジャーナルを選ぶ準備がまだできていないということになります。

また、ここで紹介するのは一般論にすぎず、論文を出版する際にはその都度実際のニーズに留意しなければなりません。どのファクターがより重要であるかは投稿ごとに変わ



ります。また、回答の多くは相互に関連しているので、常に回答全体を俯瞰しながら最終決定する必要があるでしょう。

ステップ1：Take-home message を書き出す

「take-home message」は、研究論文の読み手に覚えてもらいたい最も重要なメッセージで、論文の論拠や主張の焦点となるものです。3 センテンスを超えない程度の長さにまとめてみましょう。

「take-home message」を明確にすることにより、研究論文の理想的な読み手は誰なのかが特定しやすくなり、その結果、その読み手にメッセージを伝えるにはどのジャーナルが最適であるかを特定しやすくなります。

今まさに原稿を書き始めるところでも（これが理想的ですが）、すでに書き終えたところでも、どちらの場合でも「take-home message」を書き出して、この後に続くステップの途中で常に確認できるようにしておくこと、焦点がぶれることはありません。

ステップ2：論文発表の目標を明確にする

メッセージを伝えたい読み手は誰でしょうか？「take-home message」を確認し、あなたの研究結果から得られる知見は、実際誰に有益なのか、言い換えるならば、あなたの論文の理想的な読み手は誰かを書き出しましょう。

- あなたの研究発表はどのような読み手にとって価値のあるもののでしょうか？
 - 一般的な読者（*Science* または *Nature* などの学際的ジャーナルの読者）ですか？
 - より専門的な多分野ジャーナル（*New England Journal of Medicine* や *Journal of the American Chemical Society* など）の読者ですか？
 - 単一の専門分野ジャーナル（*Topology* など）の読者ですか？

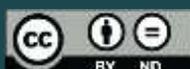


- 単一の専門分野ジャーナルのサブフィールドに特化したジャーナル
(*Journal of Knot Theory and Its Ramifications*) の読者ですか？
- 世界中の読者、ある地域の読者、自国内の読者のうち、どれが論文の読み手として最適でしょうか？
 - 世界中の読者にむけてメッセージを発信することが必ずしも最適とは限りません。特に地理的または文化的な因子が関わる研究の場合などは、論文のメッセージが、ある地域内、または自国内の読み手により有益なことがあります。
 - ターゲットとする読み手に読んでもらうためには、論文の翻訳が必要ですか？英語で論文を書くためにサポートが必要ですか？その言語的なサポートを入手できますか？サポートを無料で受けられない場合、支払いに充てる研究費はありますか？
 - 次のセクションの質問にも関連しますが、ターゲットとする読者に経済的にあまり豊かでない国々の人々が含まれる場合、掲載論文を無料で閲覧できるオープンアクセスジャーナルは良い選択肢の一つとなるでしょう。オープンアクセスジャーナルに発表すると、幅広い読み手に自分の論文を届けることができますが、実際、どのくらいの範囲の読み手に読んでもらう必要がありますか？

発表論文にはオープンアクセスとクローズドアクセスのどちらが適しているでしょうか？

様々なバリエーションがありますが、ここでは主要な特徴だけを述べます。

オープンアクセス (open access) : 読者 (およびその所属機関) は無料で掲載論文を閲覧可能。論文出版加工料 (article processing charge: APC) を論文著者が負担する場合がある。



クローズドアクセス (closed access) : 出版費は、専門学会のメンバーシップ料や閲覧する個人／機関の閲覧料でカバーされるため、論文著者の支払いは発生しない。

研究費を提供する団体の中には、研究結果の発表をオープンアクセスジャーナルに限定するところがあります。もし、研究費を提供する団体がオープンアクセスジャーナルへの投稿を規定していない場合は、オープンアクセスまたはクローズドアクセス（またはその両方の論文を掲載するハイブリッドジャーナル）のうち、どのジャーナルをターゲットとするかを定める必要があります。オープンアクセスジャーナルに掲載された論文の引用数が実際に高くなるのかについてはいまだに議論が続いており（例として、この [論文](#) やもう一つの [論文](#) をご覧ください）、また、多くの専門家団体の一流ジャーナルはクローズドアクセスで、そこではペイウォールの方式がとられています。

- （研究費の提供を受けている場合）研究費提供団体は研究発表をオープンアクセスジャーナルに限定することを規定していますか？
- プンアクセスジャーナルでの出版を希望する場合、APC（論文出版加工料）に充てる研究資金はありますか？
- ターゲットとする読者は、クローズドアクセスまたはオープンアクセスのジャーナルのどちらを読む傾向がありますか？

迅速な出版が必要ですか？

研究結果がその専門分野のコミュニティーにとって非常に価値があるもので、それを少しでも早く伝えることが正当であると考えられる場合、あるいは、自分のキャリア／就職上、ジャーナルへの論文掲載を急がなければならない場合には、迅速な出版が望まれるでしょう。ジャーナルの中には、他のジャーナルよりも投稿数が少なく、より早く論文を受理できるものがあり、また、人気のあるジャーナルの中には、速報に適した重要な論文のために、迅速な出版ルート（fast-track）を確保しているものもあります。ある地域内および自国内のジャーナルは、国際ジャーナルと比べると査読を待つ論文の数は少ないので、ジャーナルエディターが自誌に合うと判断した論文は査読プロセスに進



む時間も国際ジャーナルより短く、したがって採択された場合は、より短い待ち時間で出版される可能性があります。

- 原著論文を投稿するときに **fast-track** があるジャーナルですか？
- 原著論文の投稿に **fast-track** が無い場合、短報等 (**short/brief communication**) の投稿は受け付けられますか？あなたの研究を **short/brief communication** として書くのは良い選択でしょうか？
- ジャーナルのウェブサイトに、原稿受け取りから最初の判断（不採択か査読プロセスに入るか）がなされるまでの時間、最終判断までの時間、そして掲載されるまでの時間の平均的な値が示されていますか？または、実際に掲載されている論文の「**Received**（原稿受取）」「**Accepted**（採択）」「**Published**（掲載）」の日付から、査読と論文掲載までにかかった時間が判断できますか？
- ジャーナルの年間の発行巻数はいくつですか？予定通りに定期的に発行されていますか？継続的にオンライン出版されていますか？

ステップ 3：ジャーナルの範囲・システム・評判・インパクトをチェックする

伝えたいメッセージ、ターゲットとする読み手、出版目標が明らかになったところで次に必要となるのは、候補に挙げたジャーナルへ投稿することで、自分の出版目標が達成されるかどうかを確認することです。達成されない場合は、目標が達成できるジャーナルを新たに探す必要があります（読み手、論文の種類、オープンアクセスかどうかといった重要な条件は既に明らかになっているはずです）。

原稿はジャーナルの必要条件を満たしていますか？

- 投稿する論文は、ジャーナルの目的と範囲 (**aims and scope**) を満たしていますか？まずはジャーナルのウェブサイトで調べてみましょう。もしその目的と範



圏に当てはまらない場合、そのジャーナルへの投稿は時間の無駄ということになります。

- 書こうとするタイプの論文は、そのジャーナルに掲載されますか？単語数、参考文献数、図表の数は、投稿規定に示された上限を超えていませんか？
- ジャーナルの倫理的要件（オーサーシップ、同意、倫理委員会からの承認、データの可用性等）を満たしていますか？

どのような査読システムが採用されていますか？

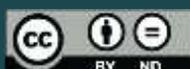
一般的な査読システムは分野によって異なりますが、主なものとして次のようなものがあります。

Blind review (single blind)：盲検査読（片側）。著者名は査読者に公開されるが、査読者の名前は著者には非公開。

Double-blind review：二重盲検査読。著者と査読者の名前はどちらにも非公開。

Open review：公開査読。著者と査読者の名前はどちらにも公開。査読者のコメントとそれに対する著者の応答が論文に添えて出版されることがある。出版後査読（open post-publication review）を行うジャーナルもある。

- 投稿ジャーナルの査読タイプは自分にとって違和感のないもので、自分の研究分野においても一般的なものですか？
- 査読に要する平均的な時間（原稿の受理から採択まで）は妥当だと思えますか？早すぎたり（査読が十分に厳密でない可能性がある）、長すぎたり（論文が読み手に届くまで長い時間を要する可能性がある）しませんか？
- 2名もしくはそれ以上の査読者がいますか？
- もし論文が不採択となった場合、別のジャーナル（通常同じ出版者のポートフォリオ内）の査読に回すカスケード査読のあるジャーナルですか？



信頼できる正規のジャーナルですか？

正当な出版社としてのサービスを提供せずに、論文著者に APC（論文出版加工料）を課す、predatory journal（粗悪なジャーナル）は、学術出版界における大きな問題となっています。

私たちが以前ご紹介した [predatory journals（粗悪なジャーナル）の見分け方](#) についてのアドバイスは現在でも有効ですので参考にしてください。そして以下に挙げたポイント確認しましょう。。また、ジャーナルがハイジャックされている（不正にコピーされている）こともあるので、そのようなジャーナルにうっかり投稿してしまわないためにも、[Retraction Watch Hijacked Journal Checker](#) で確認すると良いでしょう。

- ジャーナルの出版までのプロセスと方針（支払い、出版倫理、コピーライト等）の透明度は高いですか？
- 著者が APC（論文出版加工料）を支払わなければならないかどうかは明確に示されていますか？示されている場合、料金はいくらですか？
- 編集委員会はよく知られた信頼できるメンバーで構成されおり、それぞれの所属が明記されていますか？編集委員メンバーは、それぞれの所属機関のウェブサイトにジャーナルの情報を記載していますか？メンバーシップにダイバーシティ（多様性）がみられますか？
- ジャーナル名をインターネットで検索すると、良くないコメントがたくさん見つかりますか？
- 掲載論文に、誤字誤植、文法の間違い、その他の明らかな間違いはありませんか？出版前にテキストをより洗練させるための編集（copy-editing）のサービスはありますか？
- ジャーナルにインデックスサービスはありますか？その他に、著者が受けることができるサービスにはどのようなものがありますか？
- ジャーナルの連絡先（電話、e-mail、郵送等）が明確に示されていますか？
- どの国際出版団体に所属する出版社ですか？



- どのくらいの歴史のあるジャーナルですか？もちろん、正当な新しいジャーナルも信頼できますが、歴史の浅いジャーナルは注意深く評価することが重要です。
- 信頼できる出版社が発行しているジャーナルですか？出版社の詳細はすぐに見つけることができますか？

ジャーナルの影響力はどのくらいですか？

- ジャーナルのインパクトファクターを考慮する必要がありますか？インパクトファクターは基準として完璧なものではなく、多くの批判もありますが、まだこれからは当面の間は指標として使用され続けると思われます。インパクトファクターの高いジャーナルへの掲載は競争が激しく、したがってそのジャーナルの不採択率は高くなります。インパクトファクターの高いジャーナルで出版しなければならない特別な理由がない限り、インパクトファクターを優先する必要はありません。実際、信頼度が高く、非常に専門性の高いジャーナルは、その分野で研究し、その結果を出版する研究者数が少ない、したがって引用される文献も自然と少なくなる、というまさにそれだけの理由で、インパクトファクターが低くなっています。
- 指数を用いた [Google Scholar Metrics](#) では、どのようなランク付けがされているのでしょうか？
- 別の方法でインパクトが示されていませんか？例えば、ソーシャルメディアインパクト（新しい評価指標「altmetrics」）は示されていませんか？[Wiley](#) は、右側に示すように altmetrics スコアを説明しています。この例では、掲載された論文の altmetrics スコアは 18 です。スコアボタンをクリックすると、論文が今までにどこで引用されたかが示されます。



- どのくらい確立されたジャーナルですか？新しいジャーナルと比べると、古くからあるジャーナルは読者数が必ずしも多いとは限りませんが、固定の読者層はあられると思われまふ。また非常に専門的なジャーナルもまた、固定の読者層が付いていますが、読者層のサイズは小さいでしょう。
- ジャーナルに読者がどのくらいいるかが示されていますか？例えば、[New England Journal of Medicine](#)には、以下のような説明がなされています。

How many readers does the *Journal* have?

The *Journal* has the largest paid circulation among medical journals, with almost 200,000 paying subscribers. It is printed simultaneously each week in the United States, Canada, the Netherlands, and Japan, and a selection of translated articles reaches approximately 140,000 physicians in China through the China Medical Tribune.

Online, the *Journal* reaches between 300,000 and 400,000 readers each week; the *Journal* is also provided online at no charge in approximately 120 economically disadvantaged countries.

Studies published in the *Journal* receive extensive coverage in the news media worldwide, reaching millions of additional health care professionals and patients each week.

ステップ 4：論文発表の必須条件に一番合ったジャーナルを選択する

これまでの答えを整理して、投稿ジャーナルの候補から自分の論文発表の必要条件に一番合ったジャーナルを選びましょう。

- 時間があれば、各候補ジャーナルの最新号（および増刊号）をいくつか調べて、自分の論文に似た論文が最近出版されているかどうかを確かめましょう。もし掲載されていたら、そのジャーナルではあなたの論文の新規性は十分でないと判断される可能性があります。しかし、逆の見方をすると、あなたの研究の結果をそ



の掲載論文にうまく関連付けて、考察に取り入れることができるかもしれません。

- もし第一選択のジャーナルで不採択となってしまったときには、すでに出来上がっている候補リストから、次に適切なジャーナルにすぐに投稿することができます。

まとめ

今回ご紹介した4つのステップとフローチャートが、出版の目的の優先順位をスムーズに見極め、最適な投稿ジャーナルを短期に決定するためのお役に立てば幸いです。

投稿ジャーナル（あるいは適した学会）の選択にお困りのお客様を弊社がサポートいたします。論文に合うジャーナルをリサーチし、投稿先候補をいくつか挙げて、それぞれの違いをお客様にご説明します。お手伝いを必要とされるお客様は[ご連絡ください](#)。

オンライン版の記事はこちらから

